

平成20年5月22日

報道関係 各位

株式会社 新日鉄都市開発

## 居住時におけるCO<sub>2</sub>の排出量削減率32%～64%を達成する ハイブリッド環境住宅「TERA(テラ)」新発表 地球環境を守るために、住まいが果たすべき役割を探る 6月4日(水)に「温暖化防止を考える住宅」セミナー開催

株式会社新日鉄都市開発(本社:東京都中央区、社長:正賀 晃、以下「新日鉄都市開発」)は、環境設計に省エネルギー設備を加えたハイブリッド環境住宅「TERA(テラ)」を開発、神奈川県川崎市で開発を進めている「さくらが丘Isaac日吉」(総戸数345戸)において今夏分譲する運びとなりました。

住まいから排出されるCO<sub>2</sub>の削減と居住時の快適性の両立を目指した先進のモデル「TERA」は、環境建築設計(パッシブ・エコ)と省エネルギー設備設計(アクティブ・エコ)という2方向からの手法を採用したハイブリッド環境設計が特徴の環境住宅です。パッシブ・エコとは、“建築的工夫”で自然エネルギーを有効利用することによって化石燃料の使用を抑制、またアクティブ・エコは先進技術が生んだ省CO<sub>2</sub>性に優れた省エネルギー設備機器を採用することで排出されるCO<sub>2</sub>の削減を図るものです。

### 「TERA」のハイブリッド環境設計

- 集熱した太陽熱やエアコンの冷気を1階床下の砕石蓄熱槽で蓄熱・蓄冷し、冷暖房に活用
- 太陽光発電+高効率エコキュート+ヒーターによる輻射方温水床暖房で室温のバリアフリーを実現
- 可動式ルーバーにより、夏季は日射を遮蔽、冬季は開放して太陽熱を取込み太陽熱をコントロール等・・

これらの  
取組み  
により

- ・居住時におけるCO<sub>2</sub>の排出量削減率**32%～64%**を達成
- ・建物の環境性能を格付けする「CASBEE(建築物総合環境性能評価システム)」 **最高ランク**評価

「環境・気候変動」を主要テーマとした北海道洞爺湖サミットが開催される年に、真の“地球との共生”を実現する最先端の住まいを提案できたものと自負しております。

なお、この夏「TERA」の分譲が予定されている「さくらが丘Isaac日吉」は、新日鉄都市開発が“環境との共生”をテーマに街づくりを進め、開発当初の2003年にすでに神奈川県内で初めて、財団法人建築環境・省エネルギー機構より「環境共生住宅団地」に認定されております。プロジェクトが最終段階を迎えた今年は街だけでなく、住まいの1棟1棟が地球環境に配慮された街を追求してまいります。

以上

### 「温暖化防止を考える住宅」 セミナー開催

- |       |     |                              |            |                 |
|-------|-----|------------------------------|------------|-----------------|
| 日     | 時   | 6月4日(水)                      |            |                 |
| 会     | 場   | 東京都千代田区 丸の内マイプラザ MY PLAZAホール |            |                 |
| 主     | 催   | ECO JAPAN                    |            |                 |
| プログラム | 第1部 | ノンフィクション作家・山根一真氏             | 講演         | 「エコハウスの創り方、考え方」 |
|       | 第2部 | 「快適性と温暖化防止を両立する住宅建築」         |            |                 |
|       |     | パネリスト                        | 芦原太郎建築事務所  | 芦原太郎氏           |
|       |     |                              | ノンフィクション作家 | 山根一真氏 他         |
|       | 第3部 | 建築家・専門家向けシンポジウム              |            |                 |

# News Release

## 《受講無料》ECO JAPANセミナー「温暖化防止を考える住宅」

### 第1部 「エコハウスの創り方、暮らし方」(13:30~14:10) ノンフィクション作家:山根一真氏

自然環境問題に造詣が深く、過去500回以上の講演活動を行っている山根氏を迎え、ご自身がエコハウスを建てられた体験をベースに環境住宅の選び方などを伺います。

### 第2部 「快適性と温暖化防止を両立する住宅建築」(14:10~15:40)

①「環境共生住宅『さくらが丘Isaac日吉』での試み」橋場保則氏(スペースクリエイティブ) 落合総一郎氏(システック環境研究所)  
既存樹を活かした街並み、有害物質を吸着する舗装材など、環境負荷を抑えることに配慮した先進的な街づくりについて、実際に携わられた側からの視点でご紹介いただきます。

### ②CO<sub>2</sub>削減に向けて住宅でできること

「さくらが丘Isaac日吉」に建てられた環境住宅「TERA」を例に取り、太陽や風などの自然エネルギーを利用することでどこまでCO<sub>2</sub>排出量を削減できるか、「家」の果たす役割と可能性を探ります。

〈パネリスト(50音順)〉

芦原太郎氏(芦原太郎建築事務所) 中林由行氏(綜建築研究所) 村井正氏(ソーラーデザイン研究所) 山根一真氏(ノンフィクション作家)

〈コーディネーター〉

深尾典男氏(日経エコロジー元編集長)

### 第3部 建築家・専門家向けシンポジウム(15:50~16:50) 司会:佐々木勝年氏(NPO環境持続建築)

「TERA」の環境住宅設計および省エネルギー設備設計についての質疑応答等

日 時 / 2008年6月4日(水) 13:30~17:00(13:00開場)  
会 場 / 丸の内マイプラザMY PLAZAホール 東京都千代田区丸の内2-1-1  
定 員 / 200人(事前登録制・先着順)  
主 催 / ECO JAPAN  
協 賛 / 株式会社新日鉄都市開発、伊佐ホームズ株式会社、株式会社コロナ  
株式会社アルファーステップ、株式会社シャノン、  
トリニティータークインターナショナル株式会社、有限会社三和エクステリアサービス  
協 力 / NPO環境持続建築 他



お申し込み・詳細は… <http://ac.nikkeibp.co.jp/eco/house/>

# News Release

## 【会社概要】

### ■株式会社 新日鉄都市開発

- ・商号 株式会社 新日鉄都市開発
- ・本社所在地 東京都中央区日本橋一丁目13番1号 日鐵日本橋ビル  
TEL 03-3276-8800 FAX 03-3276-8900  
URL <http://www.nscp-net.com>
- ・代表者 代表取締役社長 正賀 晃
- ・資本金 60億2千万円(新日本製鐵株式会社全額出資)
- ・社員数 286名(平成20年4月1日現在)
- ・事業内容 都市開発・地域開発、マンション・戸建住宅の開発・分譲、オフィスビル・商業施設・物流施設等の開発・賃貸・管理、不動産仲介・コンサルティング ほか

本件に関するお問い合わせ先  
株式会社新日鉄都市開発  
住宅事業部戸建住宅ユニット 担当:齊藤理子  
TEL 03-3276-8063